

事例7

宮城県仙台市青葉区中央市民センター・仙台市立東二番丁小学校・東二番丁幼稚園

まちがっこ

連携の経緯



平成13年度仙台市教育委員会生涯学習課の「学びのコミュニティ」事業として始まった「まちがっこ」は、3年間の活動後、平成16年度から運営主体を市民に移し、青葉区中央市民センター（以下市民センター）が支援するようになり、市が「まちがっこ推進委員会（以下推進委員会）」に事業委託するかたちで再スタートし、現在に至っている。

推進委員会のメンバーには、一般公募によって参加している地域住民もいる。また、最近では、地域の中で係わりを持つ企業・団体などの参加も増えてきている。

連携事業の概要

この事業は、「地域で子どもを育てる」という視点に立ち、推進委員を中心となって、子どものすこやかな育ちを支援し、学校・家庭・地域社会・社会教育施設がそれぞれ持つ教育機能を、より相乗的に発揮できるようにしていくことをねらいとしている。

具体的な事業には、「花のあるまちづくり活動」「放課後まちがっこ」などがある。

「花のあるまちづくり活動」は、幼稚園児や小学校低学年をはじめとして、保護者、地域の企業、団体の大人が協力して花を植える事業である。事前のプランナーの準備・土づくりは、3年生の総合的な学習の時間で行っている。近隣の企業、金融機関、マスコミ、商店街なども参加して行われる。

「放課後まちがっこ」は、地域住民、小学生、園児、保護者を対象とし、子どもたちのアンケートを基にして、「昔遊びをしよう」「どろんこ遊びをしよう」「カラテでフィットネス」「泉ヶ岳クラフト教室」などを、放課後の学校や市民センターを会場にして体験活動を行いながら交流する事業である。

連携の形態

本事業は、公民館主催事業で、学校、幼稚園に事業協力を依頼するかたちで実施されている。事業の実施は、市民センターの担当者が推進委員会（学校、幼稚園、PTA、地域住民で組織）を支援し、推進委員会が中心となって行っている。推進委員会の事務局・会計は、推進委員が担当している。

市民センターの社会教育主事などがコーディネーターとなり、推進委員会の事務局や学校・幼稚園の推進委員と連絡調整、準備、会場の提供、ボランティアの手配、チラシなどの印刷物作成・配布などを行う。

学校・幼稚園は、推進委員会で委員から出された事業内容について児童、園児、保護者への周知、会場の提供、職員の協力などを行う。

宮城県仙台市青葉区中央市民センター

【施設データ】

所在地	宮城県仙台市青葉区一番町2-1-4
電話	022-223-2516
設置年	平成13年
対象地域人口	約14,689人(2007年10月現在)
延床面積	2,311.55m ²
設置状況	複合：仙台市立東二番丁小学校 仙台市立東二番丁幼稚園
URL	http://stks/city.sendai.jp/sgks/

【施設の管理運営等】

職員の状況	・センター長（専任1） ・事務企画係長（専任1） ・社会教育主事（兼任3：主査） ・教育局職員（専任5） ・教育局嘱託職員（専任1） ・財団事業職員（専任5） ・財団非常勤嘱託職員（専任2） ・臨時の任用職員（専任1）
協議会等	公民館運営審議会
予算額	維持管理費：1,765,000円 事業費：461,000円

連携の留意点

- 学校、幼稚園など関係する職員が、推進委員として企画の段階から参画しており、学校・幼稚園からの意見が尊重される会議にしている。
- 事業の企画は、学校・幼稚園の年間計画や日課に配慮しながら行う。
- 広報活動は保護者の理解を深めるために、チラシや写真などで活動の様子がわかるように丁寧に進める。
- 放課後の事業は、学校・幼稚園の職員の研修会や児童・園児の下校時刻が一致する日程になるように調整する。



成 果

- 「まちがっこ推進委員会」の活動を随時紹介してきたことやプランターの洗浄・土づくりなどを準備段階から授業として取り組んでいたことで、「まちがっこ推進委員会」という団体の存在が児童、園児、保護者に周知されるようになった。
- 今年度初めて行った「放課後まちがっこ」は、学校と幼稚園の要望などを中心に事業を計画し、4回とも80～100名の参加者があった。
- 「花のあるまちづくり活動」は、推進委員をとおして地域の企業に紹介することで、プランターの設置協力数が、5月の73台から10月の80台に増えただけでなく、新聞社前に活動内容を掲示してもらったり、他のイベントとタイアップする提案がされたりするなど活動に拡がりがみられた。

課 題

- 市民センターが推進委員会の準備・連絡などを行うが、今後、推進委員が主体的に計画を進めることができるよう十分な打合せの時間をとることと、推進委員同士の結びつきを更に強める雰囲気づくりをしていく必要がある。
- 市民センター主催事業の予算が縮小傾向にあるので、助成金や協賛金を受けたり、学校行事とリンクさせたりする工夫が更に必要である。

